

第3回定例会

町長より行政報告がなされました。
(内容は要約して掲載しています。)

・町長行政報告

補正予算・議案 質疑の中から

町税条例の一部改正について

【質問】東日本大震災の義援金も寄付金控除の対象だと思いが、領収書を発行した方々に、寄付金控除の対象となる旨のお知らせは考えているのか。

【答弁】新聞報道等でご承知のとおり、郵便局とか金融機関から直接自分で振り込んだ場合は領収書は出ません。日赤の場合は、領収書がありとなしに分かれています。が、寄付金控除の対象になる金額の方には、領収書が必要と申し出るように広報と窓口でも周知しています。

介護サービス事業特別会計の補正予算について
【質問】補正予算として、特別養護老人ホームの温水ボイラー取替えの経費が計上され

ているが、施設の老朽化は予想されており、現場の声を吸い上げて早く対応することはできないのか。

【答弁】特養のボイラーについては全体的な老朽化が激しく、莫大な補修費がかかることから、来年度予算で修繕すること、今年1年は何とかもたせる計画でした。

しかしボイラーの腐食が予想以上に進み配管等も痛んでいるため、応急的に若里小学校のボイラーをつけるということで、抜本的な修繕は計画通り来年度に整備すること



町長行政報告 (要旨)

期待の秋小麦 「きたほなみ」 は不作に...

農作物の生育状況

農作物の生育状況は、平年に回復傾向にあります。主力作物の秋まき小麦は本年より「きたほなみ」に切り替わり、麦乾燥施設増設工事により受け入れも順調に進みましたが、開花時期の低温続きに加え収穫直前の高温などの影響で「細麦」や不稔粒が多く乾麦粗原で557kg(9.3俵)に対し、調整後の販売見込み量は390kg(6.5俵)と計画を下回り、多収品種に期待しただけに残念な結果となりました。

ました。

今後不作要因について検証して参りたいと思います。

カボチャは、圃場間で差はあるものの平年並みです。

ビートは、作付け時期が大きく遅れたものの生育は回復気味。飼料作物の一番草は、悪天候が続く収穫が遅れたことで、二番草への影響が予測されます。

デントコーンは、「すす紋病」の発生も少なく、既に収穫も開始となり実入り、収量とも平年並みとのことです。

栄養価・飼料不足などに注視する必要があります。

酪農・畜産関係の受託乳量は、東日本大震災や原発事故の影響で国内生産が下降傾向にあることから、北海道及び本町においても乳量の増産体制で臨んでいます。

昨年、猛暑で自給飼料の品質低下などもあり、計画乳量を下回っている現状です。

固体販売についても原発事故の放射能問題や焼肉チェーン店での中毒発生以後、牛肉市場の低迷が続く厳しい状況ですが、今後一層の努力を期待しているところです。

第3回定例会

・町長行政報告

漁業について

北海しまえび漁は、7月1日より開始となり、244トンの計画漁獲量を達成して8月12日に終了しました。

ホタテ採苗事業は、オホーツク海、サロマ湖ともにラーバ（浮遊幼生）の出現状況が順調で、健苗稚貝を確保できました。

外海ホタテ漁業は、6月から本操業に入り、計画の7600トン達成できる見込みです。価格はキ口単価110円の計画に対し、160円程度で推移しております。しかし円高による乾貝柱や冷凍ホタテ製品などの輸出環境が心配されています。

養殖ホタテ漁業は歩留り、サイズとも昨年より低く、更にへい死や成長不良から、漁獲量は計画の1850トンを下回る見込みです。

まず漁業は、漁獲高は低調気味ですが価格に恵まれて、8月末の漁獲高は前年比126%で9月12日に終了。さけ定置網は9月4日から解禁で今後に期待します。

公共事業の執行状況

12件の交付金事業（繰越）は、全て発注済で契約金額は9174万円です。

今年度の事業件数は49件で金額4億5600万円を予定。8月末での発注済件数は36件で契約金額3億5760万円、発注率は85%です。

佐呂間厚生病院の平成22年度運営結果について

当初9740万円の損失見込みでしたが、医師不足による諸事情とも絡み、合わせて1億8827万2千円の損失となりました。22年度中の財源対策負担分を除く本年度の損失負担は、1億4831万2千円となり、平成24年3月31日に支出となります。

無床の佐呂間厚生クリニックスでは特別交付税による財源措置は対象外となることから、制度の見直しなど関係市町村と連携して道や国に要望することとしております。

1月24日発生の佐呂間町営スキー場での人身事故の経過について

1月にスキー場で発生した人身事故ですが、負傷された

方がリハビリを継続中、異常を感じて再受診した結果、打撲が原因と見られる肺動脈などに複数の血栓が確認され緊急入院しました。6月中旬に退院されましたが、完治にはまだ時間がかかる見込みです。

東日本大震災の被災地支援のための職員派遣について

2名2班体制で、7月19日から8月3日までの期間、石巻市福祉総務課が管理する被災者生活再建支援金の申請受付業務の支援を行いました。

市役所の事務機能も徐々に正常化していますが、被災地の皆さんが早く落ち着いた元の生活に戻れることを切に望みます。

佐呂間町国民保護計画の変更について

平成16年度に国民保護法が施行され、本町では19年4月から施行していますが、平成21年3月に北海道の国民保護計画が一部改正されたことから本町においても計画の変更を行いました。

議会だよりに対するご意見・ご感想をお寄せ下さい！

議会事務局宛て

TEL 2-1291

Eメール gikai@town.saroma.hokkaido.jp

